

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	教育出版

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年発達に応じて、重点とする内容項目を繰り返し学習できるように教材を複数位置配列が工夫されている。 ・ 「学びの手引き」が各教材に設けられており、人物の心情について自分の考えをもったり、話し合ったりする活動を行うことができるよう十分配慮されている。 ・ 自我関与する学習や問題解決的な学習につながる発問を位置けるとともに、「モラルスキルトレーニング」を位置付けて道徳的行為に関する体験的な学習が展開できるよう配慮されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生命尊重」「いじめをなくす」「情報モラル」を重視するテーマとして関連した教材を全学年で取り上げ、人物の心情を話し合うだけでなく道徳的価値について自分との関わりで考える活動を位置付ける配慮をしている。 ・ 家庭や地域社会と関わり合いながら、道徳的実践の日常化を推進することができるよう配慮されている。
3 上記の他、学習指導要領に示された内容や内容の取扱にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の学習と関連のある教材を位置付け、道徳教育との関わりが図られるよう配慮されている。また、巻末には補充教材として5つの読み物資料を掲載している。
4 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと岐阜に関する資料として、6年生では「六千人の命のビザ(杉原千畝)」が取り上げられている。地域の行事等について考えたり話し合ったりする活動を位置付けるなど、地域への愛着をもつことができるよう十分配慮されている。
5 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷は鮮明で適切な文字の大きさや行間である。挿絵も見やすく、写真も効果的である。 ・ 目次には、教材名とともに4つの視点に色分けされた主題名が併記されている。巻末には、1年間の道徳を振り返るコーナーが設けられている。
6 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目相互の関連性や学年の発達を考慮した教材を配列するとともに、登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習といった様々な指導を展開して、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう配慮されている。 ・ 現代的な問題について、児童が問題意識をもって主体的に考えることができるよう内容が配慮されている。 ・ 他教科と関連のある教材を位置けるとともに、ふるさと岐阜や地域への愛着をもつことができるよう内容が配慮されている。